

会議録(会議結果概要)

名 称	第2回各務原市都市計画マスタープラン策定委員会		
開催日時	令和7年1月24日(金)15時00分～16時50分		
開催場所	各務原市産業文化センター 4階第2学習室		
出席者	学識経験を有する者	市民または市内の 事業所に勤務する者	市職員
	はっとり あつし 服部 敦(委員長) かわぐち のぶこ 川口 暢子(副委員長) はぎわら たくや 萩原 拓也	つちだ しゅうさく 土田 周策 いしがき ときひろ 石垣 時広 えぐち かつみ 江口 克己 わたなべ たつみ 渡邊 辰巳 ながた みほ 永田 美帆 おおの まきたか 大野 雅尚	おおや みつぐ 大矢 貢 わらせ まこと 村瀬 誠 なかわら としお 中村 俊夫
議 題	次第 1 開会 2 委員長あいさつ 3 第1回策定委員会の振り返り 4 議事 (1)都市計画マスタープランの体系について (2)現行計画の評価について ・現行計画の進捗状況 ・計画改定にあたっての新たな視点 (3)市民アンケート結果について (4)各務原市の現状について (5)都市づくりの理念・目標について 5 その他 6 閉会		
	1 開会		
	≪事務局より説明≫		
	2 委員長あいさつ		
	≪服部委員長より挨拶≫		

	3 第1回策定委員会の振り返り
	≪事務局 説明≫(資料1)
	4 議事
	【事務局】 初めに、本日は委員全員にご出席をいただいております、各務原市附属機関設置条例第7条第2項に規定されている定足数過半数に達しているため、本委員会が成立していることを報告する。 ≪以降、進行を服部委員長とする≫ 【服部委員長】 それでは、これ以降については、傍聴者の傍聴を認めることとするが、よろしいか。 ≪委員了承≫ 【服部委員長】 本日傍聴者の方はお見えか。 【事務局】 傍聴希望者はいません。 【委員長】 わかりました。
	(1)都市計画マスタープランの体系について
	≪事務局 説明≫(資料2)
	≪質疑・意見なし≫
	(2)現行計画の評価について
	・現行計画の進捗状況 ・計画改定にあたっての新たな視点
	≪事務局 説明≫(資料3-1、3-2) ≪質疑・意見≫ 【委員】 ・(資料3-2)上位・関連計画において、関連する近年の動向について、地域公共交通計画が策定されていると思うが、公共交通に関してその計画の内容等新たに追加できる視点などがあれば記載する方が良いのではないか。 【事務局】 ・資料3-2は、これまで都市計画マスタープランをつくる中であまり検討されてこなかった内容を新たにピックアップしたいと考え作成した。 公共交通の分野については、これまでの都市計画マスタープランの中でも特に主要なテーマとして検討をされてきたため、資料3-2では掲載していない。 【委員】 ・現行計画の基本的な理念と目標は継続しつつ新たな視点ということであれば、継続する項目については、継続という形で示すと、新たな都市づくりのテーマが明確に読み取れるのではないか。計画書の見せ方の問題だが、継続するものも同列に並べ、継続の項目については、色を変えるなど見せ方を工夫してほしい。

	・ 現行計画の評価に関しては、各事業の進捗状況についての評価と理念と目標に対する達成度との関連性が少しわかりにくい。事業の整備が何%完了し、それに伴い理念や目標がどれくらい達成しているのかつなげて考えることは可能か。 【事務局】 ・ 資料3-1の構成としては、都市計画マスタープランは明確な指標が設けられていないため、総括表に掲げられていた整備方針をもとに評価した。 それぞれの理念・目標をもとに整備方針を立ててはいるものの、理念・目標の達成度を明確に数値として表現することは困難であると判断した。 【委員】 ・ 例えば「多様な主体が参加・協働する都市」のまちづくりの担い手の多様化・活性化は、様々な方策があるが、その中でもこれから10年、20年の間にやっていくべき必要な施策に関しては盛り込まれていくことになると思う。 その前提条件として、何が必要で、何が充足し、不足しているのかを整理した上で施策につなげ、それが実施できているかどうかの評価までが一連の流れになるのではないか。その整理ができると、数値での表現は難しかったとしても、市としてこの辺りにすごく力が入っているのだな、この辺りはもっとこれからやっていくのだなというところが見える化しやすくなるのではないかと感じた。
	(3)市民アンケート結果について ＜事務局 説明＞(資料4) ＜質疑・意見＞ 【委員】 ・ クロス集計の平均の取り方について、「わからない:0点」を含めて平均値の算出をすると平均が意図せず下がってしまうのではないか。平均値を出すときに、0を母数に入れない方が良いのではないか。 【事務局】 ・ ご指摘の通り集計方法を修正し、次回の策定委員会で改めて報告する。 【委員】 ・ 資料の「安心・安全」の中で、防災や交通安全は含まれているが、防犯に関して記載がないのではないか。 【事務局】 ・ 資料6の理念4の中で、防犯に関して意識して作成している。 【委員】 ・ 市街化調整区域に関する質問について、実際の市街化調整区域の居住者の評価として算出することは可能か。 【事務局】 ・ 今回のアンケートでは居住地区の項目は入れたが、居住している場所が、市街化区域か市街化調整区域かを問う質問項目がないため、集計することはできない。 【委員】 ・ 必要に応じてクロス集計し、検討を進めてほしい。

	(4)各務原市の現状について
	≪事務局 説明≫(資料 5) ≪質疑・意見なし≫
	(5)都市づくりの理念・目標について
	≪事務局 説明≫(資料 6) ≪質疑・意見≫ 【委員】 ・ 理念 1 の「交通軸」というのはすごくいいなと感じた。一方で、「広がる」という表現にするとスプロールしていく都市のようなイメージが湧いてしまう。公共交通により、交通軸がネットワーク化していくというイメージであれば、例えば「つながる」、「交通軸からつながる生活圏で暮らせる都市」など公共交通をイメージさせる表現が良いのではないかな。 ・ 緑の基本計画では、各務原市は山や川、農地などの自然的な要素と、都会の便利さという都市的な要素が、非常にバランスが取れており暮らしやすいまちという印象があると委員から話があり、そのことから調和したという表現に違和感はないものの、これからは活用について考えていくべきという意見があった。「豊かな自然環境」だけではなく、活用していくという表現を含めてはどうか。 ・ 言葉の表現方法で、「自然と調和した都市」という表現では、都市と自然は対立構造にあるように感じるが、都市の中に自然が織り込まれているものだと思うため、「自然と〇〇が調和した都市」という表現が良いのではないかな。 【委員長】 ・ 最初の交通軸については、「交通軸からつながる」が表現としてよい。 ・ 緑については、都市と自然が対立構造にならないように、緑の基本計画の方針である「保全・創出・活用」を入れてはということによろしいでしょうか。 【委員】 ・ はい。 【事務局】 ・ 理念 3.緑の分野については、再検討する。 【委員】 ・ 基本理念2の都市づくりの目標の案の中に「雇用を創出する」というキーワードがあるが、現在の市内の雇用状況としては、有効求人倍率が県内でも非常に高く、全国的にも高い。仕事はあるけど、人がいないという状況。人手不足の状況で、雇用を創出することを目標とするのは、少し違和感がある。 ・ 実際人口減少が始まり、生産年齢人口が減っていく中で、省力化・省人化という形で、DXも含めた政策にも力を入れ始めていることから、活力を創出するイメージで目標を再検討してほしい。 【委員長】 ・ ここで「用地・雇用」まで言及すると絞りすぎているため違和感を感じるのではないかな。「既存産業の振興、新たな産業を創出する都市づくり」という表現が良いのではないかな。 【事務局】 ・ いただいたご意見の通り修正する。

【委員】

- ・ 理念 1 の表現についてで、自動車交通と比べて公共交通に力を入れるべきだと私は考えているため、そこから若干後退したように感じた。
市の特性として、自動車交通も重要であると理解したが、公共交通も重要というメッセージは強く発信してほしい。

【委員長】

- ・ コンパクトなまちづくりを考えたときの公共交通という点と、地域の特性である道路を重要視する点をどう整理するか。
それに関連して、理念2の目標の一つである「道路網が充実した都市づくり」は、ほかの目標が理念的であるのに対し、ここでは即物的な理念が入っている。また道路の話は、理念 1・2 両方に入ってきている。
今いただいたご意見も含め、公共交通と道路網整備の関係を整理し、表現方法を再検討してはどうか。

【事務局】

- ・ 了解した。

【委員長】

- ・ 「自然と調和した都市」の目標で、1つ目の目標と2つ目の目標は何を書き分けているのか一見分かりにくい。この2つを書き分けている理由は何か。

【事務局】

- ・ 緑の基本計画の「保全・創出」という要素も入れ込めるように考えていたが、「活用」が入れ切れず、「保全・創出」が残っている状況。

【委員長】

- ・ 理念 3.「水と緑に包まれた美しい都市づくり」は、理念的な表現になるため、目標の書き分けについて再検討が必要ではないか。
また、自然に関して「保全・創出・活用」とはいいつつ、理念5の歴史・文化資源の
では「活用」となっている。歴史・文化資源も一般的に「保全・活用」と表現するがそこ
も含め言葉のバランスを考えたほうが良い。
- ・ 「郷土への誇りや愛着が醸成された都市づくり」ではなく「愛着を醸成する都市づくり」と表現した方が良い。

【事務局】

- ・ 理念 3 は再検討する。理念 5 はご指摘の通り修正する。

【委員】

- ・ 「多様な主体が参加・協働する都市」に関連して、市では、例えばまちづくり活動などを支援するような取組はあるのか。

【事務局】

- ・ 取り組んでいる。

【委員】

- ・ そのような取り組みに関する内容は、資料に出てこないのか。

	・ ハード整備は今までたくさん出てきたが、ソフト面はなかったため、今行っている取組があれば、ぜひそこも入れ込んでいただきたい。 【事務局】 ・ 了解した。 【委員】 ・ 理念の「都市づくり」を最後につけないといけなのか。 【事務局】 ・ 必ず入れないといけないわけではないが、統一感があるためこのような表現とした。 【委員】 ・ 無理に「都市づくり」につなげているのであれば、必ずそうしなくてもいいのではないかというのが率直な感想。 【委員長】 ・ 表現の見直しは必要だが、理念・目標の方針としてはこの内容でよいか。 ≪委員了承≫ 【委員長】 ・ いただいたご意見をもとに再度精査し、次回に向けて整理を進めていただきたい。
	5 その他
	今回いただいたご意見を踏まえ、理念・目標については再検討をしつつ、次回の策定委員会では、具体的な取組や方針を検討いただきたいと考えている。
	6 閉会
	第2回都市計画マスタープラン策定委員会 終了
会議資料	資料1 :第1回策定委員会の振り返り 資料2 : (1)都市計画マスタープランの体系について 資料3-1 : (2)現行計画の評価について 現行計画の進捗確認 資料3-2 : (2)現行計画の評価について 計画改定にあたっての新たな視点 資料4 : (3)市民アンケート結果について 資料5 : (4)各務原市の現状について 資料6 : (5)都市づくりの理念・目標について